

## 1 チャンネル文字

- ・水気、油分をふき取ってください(画1-1)

**推** チャンネル文字の内側は白塗装、反射シート貼りつけを推奨します



画1-1

## 2 ユニットの配置

- ・チャンネル文字の底に一定間隔でユニットを配置します(図2-1)
- ・ユニットの両面シールのシートをはがし、貼り付けます
- ※完全に接着するまで24時間かかります

**推** ユニット貼付後、上下をコーキング処理するとより剥れにくくなります

- ・ビス止めの場合はM3ビスにて取付してください

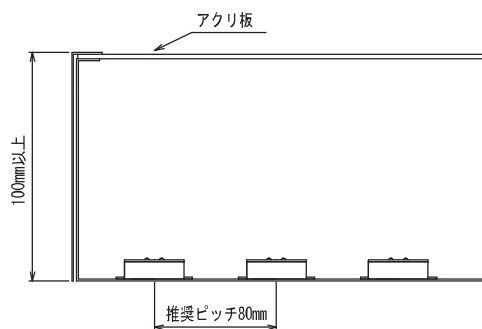


図2-1

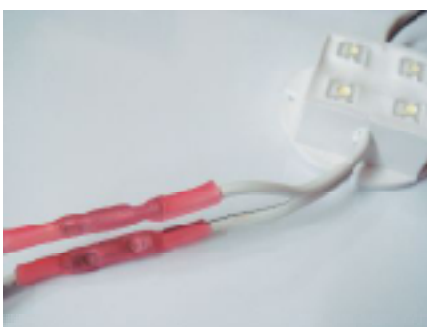


画2-1

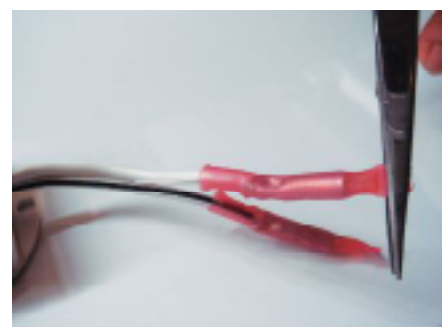
## 3 ユニットの結線

- ・ML-Z-W4-DC12Vユニットの最大接続数は60個です
- ・ユニットを追加接続する場合は極性 (+、-) に注意してください ※+、- を逆に結線をすると故障する恐れがあります
- ※(白白)線は+、(白黒)線-です
- ・ユニットを途中で切断しつなぎ合わせ接続結線は防水、絶縁処理を行ってください(画3-1、画3-2)

**推** 推奨防水スリーブ <<メーカー:ニチフ 型式:SB2216>>



画3-1



画3-2

## 4 チャンネル文字内 総W数計算とDC電源容量選定の計算

### ＜基本計算＞

1ユニットのW数×使用配置個数＝チャンネル文字内総W数

チャンネル文字内総W数×安全率≒ DC電源容量

(例)ML-Z-W4-DC12Vを100個の場合

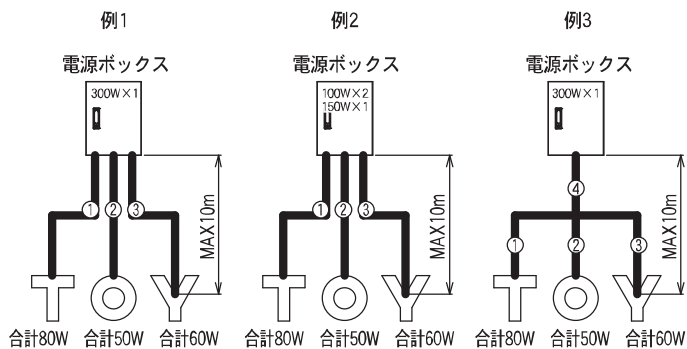
$0.7W \times 100\text{個} = 70W$ (総W数)

$70W \times 1.5 = 105W \approx 150W$ (DC電源容量)

## 5 チャンネル文字とDC電源の配線接続

・チャンネル文字から電源BOX(DC電源)までの配線を接続します

【配線例】各文字から電源BOXまでの配線例



1文字の総W合計	電線種類
100W以下	VCTF 1.25sq 2芯
150W以下	VCTF 2.0sq 2芯
250W以下	VCTF 3.5sq 2芯
350W以下	VCTF 5.0sq 2芯

※DC電源までのケーブルの長さは10m以内で配線してください

図5-1

表5-1

【配線選定例】各文字から電源ボックスまでの線の選定(表5-1参照)

- ①は『T』文字合計は80W＝VCTF 1.25sq 2芯
- ②は『O』文字合計は50W＝VCTF 1.25sq 2芯
- ③は『Y』文字合計は60W＝VCTF 1.25sq 2芯
- ④は①+②+③+の合計190W＝VCTF 3.5sq2芯

・電源ボックス内の端子に接続します(画5-3)

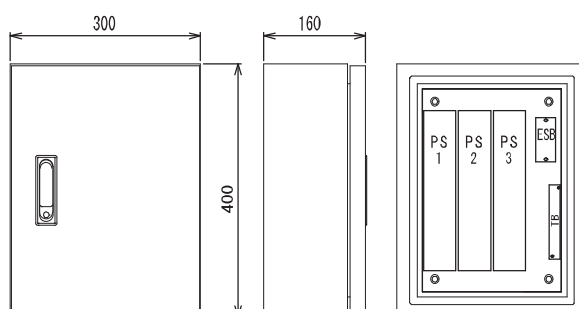
※極性(+、-)には注意してください



画5-3

## 6 電源ボックスについて

- ・DC電源から発熱しますので、ボックスに通気孔、又は換気FANを設置してください
- ・屋外設置の場合は防水ボックスを選定してください ※漏電ブレーカーを必ず設置してください



PS : DC電源 (AC/DC12V) 150W  
 ESB: 漏電ブレーカー  
 TB : AC100V又は200V入力  
 : DC12V出力文字看板へ AC100V又は200V入力